

令和2年7月豪雨

REBORN

プロジェクト

助成：一般財団法人 熊本放送文化振興財団 日本財団



昭和 29 年 8 月 25 日
球磨川をバックに記念写真。
撮影：本村孝夫氏



昭和 61 年 4 月
球磨川を泳ぐ鯉のぼり、深水発電所前
同発電所も豪雨にて流失。
撮影：東儀一郎氏

本プロジェクトは、写真家・豊田有希が中心となり、令和2年7月豪雨で水損した八代市坂本町に残るネガフィルムを、クリーニングしてデジタル化し保存、再プリントするものです。これらは、地元のアマチュア・カメラマン、故・東儀一郎氏、本村孝夫氏らが撮影したもので、昭和30年頃の旧・坂本町の暮らしの様子が写し出されています。同町でラフティング会社「Reborn」を営むリバーガイド・溝口隼平氏が、資料として譲り受け、整理・保管してきました。しかし、今回の水害でその多くが水没することとなりました。

この「REBORNプロジェクト」は、残ったネガフィルムを保存し公開することで、町の方々を始め多くの方と、坂本という土地の記憶を共有し、その再生(REBORN)を目指すものです。今回は、プリント展示のほかに、復活した水損写真やネガをまとめた記録写真集を会期中に発行します。



撮影年月日不明 219号線から坂本町の中心部へと続く坂本橋。令和2年7月豪雨にて流失。
水損の激しかった35mmカラーフィルムのデジタルデータ 撮影：東儀一郎氏

ドネーションブック「REBORN」発行記念トーク

球磨地域での被災・復興の状況や、川やダムをめぐる歴史や現在について語ります。

日時：2021年2月14日(日)14時-15時 場所：熊本市現代美術館アートロフト

出演：溝口隼平(リバーガイド「Reborn」主宰)、坂本桃子(坂本出身/フリーライター)、豊田有希(写真家)

定員：先着50名 参加無料

要予約